



# 梅中のこと知っとう その3

令和3年 7月  
福岡市立梅林中学校  
学校だよりNo.6  
文責 校長(尾崎)

## ○梅林中学校にある古墳



梅林中学校の校地内には古墳があります。もともこの場所は大字梅林大谷と呼ばれていました。その地名をとり大谷古墳群と呼ぶようになりました。この学校にある古墳は全部で発見された21古墳の一つで早良平野の中にあつたあるムラの族長のお墓だと推測されます。昭和46年から47年にかけて発掘調査が行われました。そして、多くの土器(須恵器)などが出土しました。油山の山麓、丘陵には他にも七隈古墳群、倉瀬戸古墳群、片江古墳群などの多くの古墳群が発見されています。興味がある人は調べてみてくださいね。そんな場所に梅林中学校は城南中学校から分離して昭和44年4月に開校しました。古代、早良平野で水田を作って暮らしていた村人がいて、そのムラの長(族長)が油山の山麓、丘陵に埋葬されていたということです。梅林中学校で学んでいるみんなは、この古墳のある学校で学び、この学校を卒業していきます。古代の人々は油山とは呼んでいませんでしたが、私たちと同じように油山を毎日眺めて生活していたのです。福岡市で一番油山をきれいに眺める場所にある梅林中学校なのです。緑に芽吹く油山、この歴史的なことを思いながら校歌の歌詞を読むと自分の学校に対する愛着や思いが強くなると思います。ぜひ、多くのことに気づき、自ら学んでいく力をもっと伸ばしていくことを期待しています。がんばれ梅林中学校の生徒のみなさん。古代人に負けなたくましさを知恵を身に付けてください。

## ○高原さん、矢羽田さん・・・どんな人？



週に2回くらい自転車で学校にやってくる、花壇の草取り、苗作り、水遣りなどいつも学校の美花活動をされています。入学式や卒業式の飾りものやコサージュ作りなど、校舎内外にお二人の作品があるのです。二人はあの梅中人権宣言がだされた時のPTAの役員だったのです。当時の生徒会はPTA役員の方に背中を押されて「私たちにできることあるの」という問いから人権宣言をつくり世界に広げようとしたのです。

高原さん、矢羽田さん達はキルトの会を作り、世界中のHIV感染の子ども達にキルトを作り、プレゼントして「病気に負けないで」「生きる希望を失わないように」と励まし続けてこられたのです。まさに、20数年前からSDGsを実践し、今もなお、続けられているのです。梅中生が元気に明るく学校生活が送れるように美しい花を育てられています。美しい環境で学んでほしいと、いつも、みなさんを応援されているのです。時間があれば、高原さん、矢羽田さんに声をかけてみてください。

「いつもお花の世話ありがとうございます。」「何かお手伝いすることありませんか」

「その花は何という花ですか」「キルトの会って何ですか」

最高の笑顔が返ってきますよ。その最高の笑顔を見た時、心が落ちつき、優しい気持ちになれるはずです。本当のボランティアってずっと継続していくことなんですね。梅中生のために梅中の先生のために、いつも本当にありがとうございます。